

# 科学研究に係る「地域の色・自分の色」関係機関連携推進協議会

日時：平成29年7月16日（日）14：30～  
場所：iichiko総合文化センター4階 中会議室1

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 代表あいさつ

### 3. 大学代表あいさつ

### 4. 出席者紹介

### 5. これまでの経緯と昨年度（関係機関連携推進協議会及び実践校連絡協議会）の振り返り

- 25年2月 諮問機関答申「将来を見据え、管理運営に合わせて、芸術文化を活用した人材育成と地域振興が必要」
- 26年10月 姫島小中学校「地元の石・土による顔料作り」を皮切りに、県下の小中学校に美術館出張授業を展開「32校実施」
- 27年4月 県立美術館開館
- 27年5月 県下全小学生を対象に、小学生ファーストミュージアム体験事業実施（県の無料招待）  
～7月 →次年度以降は4年生を対象に実施
- 27年8月 小学校新採2年目教諭を対象に、県教委ステップアップ研修を美術館にて悉皆で実施  
→次年度は、幼稚園とこども園の教員を対象を拡大
- 28年4月 日本学術振興会の科学研究費助成事業 基盤（B）（一般）に採択
- 28年5月 大学と協議のうえ、研究の基盤づくりに向けた「関係機関の調整」や「実施段階における支援」を目的に、「科学研究に係る「地域の色・自分の色」関係機関連携推進協議会」設置
- 29年4月 津久見第一中学校の取組みが、博報財団の研究助成に採択  
→当協議会の取組みに含める

### 6. 実践校園の活動報告について

- ①総括
- ②科研実践校園（津江小学校、姫島小学校・姫島幼稚園、宇目緑豊小学校、盲学校）
- ③博報財団実践校（津久見第一中学校）

### 7. 教育効果検証に向けた研究報告と今後の研究計画について

### 8. 意見交換

### 9. 閉会

## 科学研究に係る「地域の色・自分の色」関係機関連携推進協議会 会議録

- 1 開催日時：平成29年7月16日（日）14：30～17：00
- 2 場所：iichiko 総合文化センター4階 中会議室1
- 3 出席者：科研評議会顧問 御手洗 康、小松 弥生、立花旦子、藤本昭夫  
科研評議会参与 渡辺 恭英、竹村 恵二  
科研評議会会員 武田 喜一郎、中元 一郎、伊豆島 明、越智 義道  
梶原 敏明、能見 駿一郎、米持 武彦、渡邊 英樹、  
清松 今朝見、木下 敬一、小池 一彦、後藤 哲郎、  
幸野 洋子  
科研 実践校 日田市立津江小学校 校長 島 邦彦  
姫島村立姫島小学校 校長 須股 哲史  
主幹教諭 石田 吉幸  
佐伯市立宇目緑豊小学校 校長 伊東 俊昭  
大分県立盲学校 校長 魚形 幸助  
教諭 高橋 泰佳  
オブザーバー 佐藤 誠、狩生 浩司、永松 芳恵  
事務局実行委員会 委員長 照山 龍治 副委員長 木村 典之 ほか  
研究チーム 西口 宏泰、麻生 良太、藤井 康子  
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団  
経営統括監兼総務課長 岡田 浩明  
企画室 主幹 松田 雄策  
事務員 矢野 祥二  
事務員 首藤 智絵

#### 4 協議会の流れ

定刻、照山委員長が開会を宣言し、次第にそって進行。

冒頭、照山委員長からこれまでの経緯を説明。その後、木村副委員長から活動報告の総括を行った。続いて、津江小学校、姫島小学校、宇目緑豊小学校、県立盲学校の取り組みについて、各校担当者より報告を行った。報告終了後、研究チームより教育効果検証に向けた研究報告と今後の研究計画について説明し、質疑応答となった。

協議会終了後、科研に係る「地域の色・自分の色」実行委員会の委員長、副委員長、委員、事務局が集まり、実行委員会の名称を「地域の色・自分の色」実行委員会に変更することを協議し、全員異議なく承認した。